



【 地域の方から学ぶ子供たち 】

○ 今週は、地域の方から学ぶ機会が多くありました。14日(火)、15日(水)は、井波地域づくり協議会のお世話で、「井波ウォーキング俳句の会」「井波麻がら句会」「いなみ連句の会」の方々から、4・6年生が俳句づくりについて学びまし



た。新聞にも掲載されたので、ご存知の方も多いと思いますが、井波別院瑞泉寺の11代住職浪化上人が、松尾芭蕉の最後の弟子となったのを縁に、井波は俳句が盛んです。これは、私が昨年度赴任して、初めて知ったことです。そして、この俳句づくり教室は、今年で10年目です。俳句の詳しい方からのご指導のおかげで、子供たちは**俳句に興味をもち、俳句をつくる楽しさ**を知りました。また、つくった俳句は井波交通広場に掲示されるとのことで、**子供たちの自信**にもなります。

○ 14日(水)には、不審者に関わる避難訓練と防犯教室を行いました。南砺警察署や井波幹部交番から4名の方に来校していただきました。防犯教室では、「いかのおすし」についてイラストを提示され、子供たちは自分で命を守る大切さを学びました。これも、学校の教員が話すより、警察の方から話していただく方が、**子供たちにとって切実感をもつ**ことになります。



○ 本日の5限目には、6年生が、南砺市商業まちづくり課の方や、ジソウラボの代表者の方が来校され、総合的な学習の時間に6年生の子供たちが話を聴きました。南砺市、とりわけ井波は、観光で多くの観光客に来ていただくことに力を入れているとのことですが、



コロナ禍になってから、観光客が半減したとのこと。しかし、八日町通りに新規の店舗を開くなどの多くの取組があり、また、「井波は世界における超一流のいなか」という話もありました。そして、子供たちに対して、「**井波の観光を盛り上げることを期待しています。**」と言われました。きっと、子供たちは、**井波の発展のために何らかのアクションを起こす**だろうと期待しています。